

令和5年度

肢体不自由教育部門

小学部

第2学年

③学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第2年	
教科等名	音楽			学習グループ	③	
ねらい	(1) 楽器の音色や振動へ関心に向け、演奏等を心地よく受け止める。 (2) 教職員と一緒にいろいろな楽器に触れ、働き掛けて音を鳴らすことに親しむ。 (3) 演奏や鑑賞等の音楽活動を通して、気づきや感じたことを自分なりの方法で表す。					
担当教員	高村祐美 高橋裕里子			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	エリック・カールの絵本うたがみえるきこえるよ					
主な指導の工夫	(1) 音の響きや余韻、伝わる振動が分かりやすい楽器を用いることで児童が気づきやすくする。 (2) 児童自らの動きを大切にしながら、音色や音の振動を体感しやすいように介助位置や程度を調整する。 (3) いろいろなリズム、テンポでの演奏曲や季節・行事に応じた楽曲を鑑賞教材に取り入れ、児童からの意思表示を広げていく。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	鳴らしてみよう(演奏) 「どんな音？」	35	教員や友達の楽器演奏に傾聴し、楽器 ◆ の音色や音の響き、余韻を心地よく受け止める。 教職員の介助を受けて、楽器に触れたり、鳴らすことに親しむ。 ◆ ◇ 楽器に触れる、動かす、鳴らす活動 4・5月：カバサ 6・7月： レインスティック、ストルモック 9・10月：オーシャンドラム、鈴 11・12月： トーンチャイム、メルヘンクーゲル 1・2・3月：和太鼓、パーカッション			
	聴いてみよう(鑑賞)		いろいろな演奏曲や楽曲を傾聴し、感じたことを表す。 ◆ ◆ 楽曲の雰囲気や諸感覚で受け止める経験を重ねる。 ◇ 季節・楽器の鑑賞活動 4・5月：「春の小川」 「カバサをならそう」 6月：「あまだれ」 7月：「ちいさいうみ おおきいうみ」 9月：「村祭り」 10・11月：「ガボット」 12月：「ほしにねがいを」 1・2月：「おどるこねこ」 3月：「春が来た」			

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	図画工作			学習グループ	③	
ねらい	(1) 色、形、感触の変化に気付き、興味や関心を向けることができる。 (2) 自分の方法で手指を動かして教材にかかわり、表現することができる。					
担当教員	高村祐美 高橋裕里子			年間授業時数	34 時間	
使用教科書	『いろいろばあ』					
主な指導の工夫	(1) 児童にとって感触が分かりやすい素材を精選する。 (2) 児童の手の動きを尊重しながら介助を行う。 (3) 活動の前に、肩まわりや手指のストレッチをする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	絵の具遊び		◆ 絵の具の感触に気づき、手を動かしたり視線を向けたりする。 ◇ めたくり ◇ 運動会の衣装の装飾			○ ○
6 7	染めてみよう		◆ 素材の感触や変化を受け止める ◇ 色氷遊び		○	
9 10	触って作ろう		◆ 素材の感触や変化を受け止める ◇ 毛糸、羊毛フェルト遊び		○	
11 12	季節の飾り作り		◆ 素材の感触や変化を受け止める ◇ 粘土遊び		○	
1	書初め		◆ 墨を使って自由に描く ◇ 書初め、墨絵			○
2 3	写して遊ぼう		◆ 色々な素材に触ったり、道具を使ったりする。 ◇ 版画遊び		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	自立活動			学習グループ	③	
ねらい	(1) 身体を取組みを通して、心地良く受け止められる姿勢や働き掛けを増やす。 (2) いろいろな働き掛けを諸感覚を通して受け止める経験を重ねる。 (3) 活動で感じた気持ちや気付きを教職員と共感するうれしさを感じ、意思表示する力をのばしたり、表出方法を広げたりする。					
担当教員	高村祐美 高橋裕里子			年間授業時数	392.5 時間	
使用教科書						
主な指導の工夫	(1) 排痰やリラクゼーションを促す取組みを中心に行い、学習へ心身ともに落ち着いて参加できるようにする。 (2) 自立活動担当教員や外部専門員の助言をもとに、身体機能やコミュニケーション力を高める取組みを取り入れるように工夫する。 (3) 諸感覚に訴える分かりやすい教材を外部専門員の助言をもとに活用し、児童が働き掛けを意識したり、楽しさや面白さに気付いたりできるようにする。 (4) 児童から気持ちの表出動作が見られた場合は、前後の働き掛けから表出の意味付けをしながら共感的な言葉掛けを丁寧に行い、表出動作の定着を図る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	はじまり・あそび	200	教員の言葉掛けや働き掛けに気付き、自分なりの方法で応じようとする。 ◇ 呼名「あなたのおなまえは？」 歌や挨拶などを手掛かりに学習の始まりに気付き、気持ちを向けて参加する。 ◆ 始まり・終わりの挨拶 ◇ グループソング「なにかがはじまるあさ」 順序性のある簡単な遊びの活動を通して、やりたい気持ちを抱いたり、その気持ちを自分なりに表したりする。 ◇ 季節にちなんだ歌や遊びの活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	身体を取組み（教室）	106.5	◆ 体調や気持ちに応じた姿勢や働き掛けを受け止め、心地良く過ごす。 ◇ 姿勢変換及び保持の取組み、マッサージ等を通じた排痰及びリラクゼーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	机上・操作学習（教室）		◆ 教材や働き掛けに気付き、感じたことを自分なりに表す。 ◇ 教材を介した認知学習（手指の操作、因果関係理解、諸感覚に働き掛ける活動）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	特設自立活動	40	◆ いろいろな教職員との活動を受け止め、落ち着いて取組む。 ◆ 大型遊具等での全身に働き掛ける運動を心地よく受け止める。 ◇ 身体を取組み、机上・操作学習に準じながら、外部専門員の助言を受けて活動する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	からだ・うんどう	35	◆ 全身運動を通して、教職員と身体を動かすことに親しむ。 ◇ 寝返り遊び、バランスボード ◇ トランポリン、体操遊び	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	安全教育	11	◆ 放送や避難行動を落ち着いて受け止める。 ◇ 避難訓練（地震、火災、津波等） ◇ 交通安全教室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	日常生活の指導			学習グループ	③	
ねらい	(1) 安心できる生活環境の中で、身支度等に関する介助を落ち着いて受け止める。 (2) いろいろな教職員とともに生活に必要な諸活動の取組みを受け止める。 (3) 時間に応じた挨拶や呼名に対する返事の活動に親しむ。					
担当教員	高村祐美 高橋裕里子			年間授業時数	122.5 時間	
使用教科書						
主な指導の工夫	(1) 個々の実態や課題に合わせた生活における諸活動を設定する。 (2) 内容に合わせた言葉掛け等を行うことで、身支度を意識しやすくする。 (3) 時間に応じた挨拶を取り入れながら教職員が言葉掛けをすることで簡単な時間感覚や食事の始まりと終わりなどを意識しやすくする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	身支度をしよう	122.5	◆ 身支度に関する介助を落ち着いて受け止める。 ◇ 排せつに関わる言葉掛けや介助を受け止める ◇ 衣服の着脱に関わる言葉掛けや介助を受け止める ◇ 水分摂取や給食（注入）に関わる準備や介助を受け止める			○
	挨拶をしよう		◆ 挨拶を交えた教職員からの言葉掛けを聞き、簡単な時間感覚に親しみながら過ごす。 時間に応じた挨拶 ◇ 「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」 食事にちなんだ挨拶 ◇ 「いただきます」「ごちそうさまでした」	○		○
	返事をしよう		◆ 教職員から名前を呼ばれることに親しみ、自分の名前を意識する。 ◆ 表情や動作、発声などの自分なりの方法で応じることに親しむ。 ◇ 名前呼びや返事の活動 ◇ 名前を交えた歌・ふれあい遊び			○ ○ ○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第 2 年											
教科等名	生活単元学習		学習グループ		③											
ねらい	(1) 季節や生活にちなんだ活動を通して、四季の雰囲気や伝統的な習慣に親しみ、楽しく経験することができる。 (2) 行事に向けた取組みを繰り返し学習することで、簡単な見通しや期待感をもちながら活動することができる。 (3) 安心できる関係の教職員との活動を通して興味関心の幅を広げ、教職員と様々な気持ちを共感する心地良さを味わうことができる。															
担当教員	高村祐美 高橋裕里子		年間授業時数	70	時間											
使用教科書	さわってあそぼう「ふわふわあひる」 松谷みよ子あかちゃんの本「あなたはだあれ」 五味太郎の絵本10「かたち」 ことばをおぼえる本「かず・かたち・いろあいうえお」															
主な指導の工夫	(1) 季節にちなんだ視覚、聴覚、触覚、嗅覚へ働き掛ける教材を取り入れ、四季の雰囲気や習慣を体感しやすくする。 (2) 内容や言葉掛けを精選し、一定の流れでの学習を繰り返し取り組むことで、児童が簡単な見通しや期待感をもちやすくする。 (3) 児童から気持ちや要求を表す様子が見られたときには、前後の様子から丁寧に気持ちを汲み取って意味付けし、共感してもらえた嬉しさを味わえるようする。															
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ									
				知識	思考	態度	国	算	生	音	図	体				
4	先生や友達と仲良くなろう	4	◆ 新しい教職員や友達と一緒に活動して新しい環境に慣れる。 ◇ 身体遊びや歌遊び ◇ 校内探検													
5	運動会に向けた学習	12	◆ 歌や種目の取組みを通して、運動会らしさを知り、楽しく身体を動かす。 ◇ 運動会の歌、準備体操『エビカニクス』 ◇ ボウリング(ボールを使った活動)													
6	夏の遊びをしよう	16	◆ 新聞や水の感触や夏の見立て遊びを心地良く受け止め、感じたことを表出する。 ◇ 新聞紙プール(新聞紙破りや感触遊び) ◇ 水遊び ◇ 季節の絵本の読み聞かせと体験活動													
7																
9																
10	墨東祭に向けて	12	◆ 墨東祭の歌やダンスに親しみ、期待感をもちながら活動する。 ◇ 墨東祭の歌、ダンス ◇ 墨東祭発表準備													
11																
12	冬の遊びをしよう	18	◆ 冬の見立て遊びを心地良く受け止め、感じたことを表出する。 ◇ 足浴 ◇ スノーズレン ◇ 季節の絵本の読み聞かせと体験活動													
1																
2																
3																
通年	学年の時間	6	◆ 学年の教職員や友達との活動やその雰囲気を受け止め、感じたことを表す。 ◇ 歌、ゲーム遊び													

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度